

平成 18 年 10 月 29 日 13:00～16:00 で開催された「生物教材シンポジウム」－生物図表をもっと使いやすくしたい－（主催 愛知県理科教育研究会生物研究委員）での概要は以下です。

はじめに愛知県理科教育研究会生物研究委員長である野々山大府東高等学校長の開催のあいさつがありました。

続いて、参加した企業によるプレゼンテーションが行われました。

一通り、プレゼンテーションが終わった後、参加された先生方からの質疑や意見交換が行われました。

生物図表全体としては、

- ・教科書にもかなり綺麗な写真が記載されるようになった。生物図表では教科書と比較しても負けない写真・図を求めたい。
  - ・生物図表の巻末に簡単な生物辞典として語句の定義、語源や人名をまとめておいてくれるとありがたい。特に著名な人名やノーベル賞受賞者についてはある程度、読み物として独立させてもよい。
- など、教科書との差別化を期待した要望が出されました。

また、ICT化が進んだためか、

- ・インターネット等で教科書や生物図表の記載、内容等についての専門的な質問を受け付けてくれる会社はないか。
  - ・検定等で教科書の名称、記載や説明等に変更があった場合、その一覧をホームページに提示してほしい。
  - ・誤記等があればその一覧をホームページに提示してほしい。
- といった、業者のHPの利用を求める声もありました。

特に、今回のシンポジウムで強い要望が出たのは生物図表や教科書の内容や動画をまとめたDVDやCDのコンテンツに関する要望でした。例えば、

- ・図説の一部としてDVD動画コンテンツを巻末付録とすることは不可能か。
  - ・動画コンテンツやテキストの入ったCDのサンプルをいただいたが、画像や動画の一部しか見ることができない。他社との比較ができない。リサイズした縮小動画でいいので、体細胞分裂やウニ・カエルの発生の過程程度は入れておいて欲しい。
  - ・物理、化学のような入試問題集や入試データベースの生物編を検討して欲しい。
  - ・消耗費以下で購入できるような価格設定で動画コンテンツの販売はできないか。
- などです。

生物図表から離れた意見や要望も多く、参加された先生方の教材に対する関心の高さをうかがえる会であったと思います。また、最初に行われたプレゼンテーションも企業の特徴がよく表れており、教材の採択の際、参考になる会でした。